

糖質制限により血清尿酸値が 上昇した一例

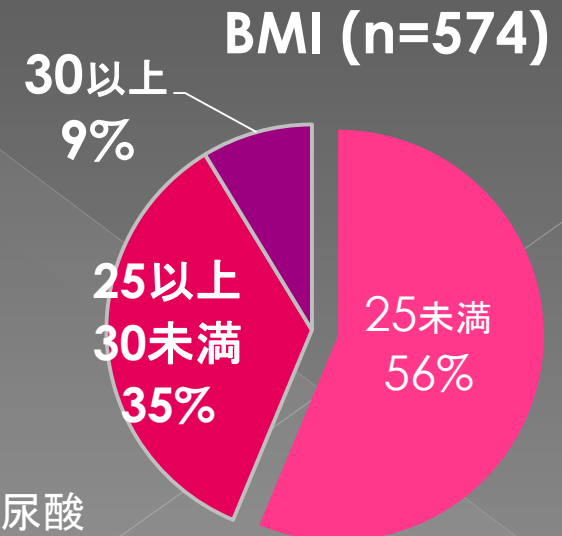
横関美枝子¹⁾、大山博司¹⁾、田中万智¹⁾、大槻美佳¹⁾
諸見里仁¹⁾、大山恵子²⁾、藤森新³⁾

1) 両国東口クリニック 2) つばさクリニック

3) 帝京大学医学部附属新宿クリニック

【背景①】肥満

- ◎ 「肥満傾向のある高尿酸血症・痛風患者に対しては糖尿病治療に準じた摂取エネルギーの適正化が食事療法の第一に挙げられる」 高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版
- ◎ 一時的な血清尿酸値の上昇やリバウンドを避けるため、過度な食事制限や急激な体重減少をさせないことである



2015年3月～2016年3月の尿酸
クリアランス検査実施者のBMI (当院調べ)

【背景②】糖質制限

- 今日減量と言えば『糖質制限』という風潮があり、保険事業の一環で糖質制限に取り組んでいる企業もある
- たんぱく質の多い食品の過剰はプリン体過剰を招き、厳しすぎる糖質制限は体内のケトン体合成を高め、ケトン体の影響により尿酸値が上昇することが考えられる

【症例】

- 糖質制限開始し数か月後に尿酸値上昇
- 体重は減少しており、ケトン体は基準値を大きく上回っていた
- 診断：ケトン体上昇による尿酸排泄機能低下

【結語】

- ◎ 過度な糖質制限や急激な体重減量は尿酸値を高めるリスクがあるため、行わないよう注意喚起をしていく必要がある